PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

61-244507

(43) Date of publication of application: 30.10.1986

(51)Int.Cl.

B29C 31/04 B29C 45/60 B29C 47/44 B29C 47/60

(21)Application number: 60-086025

(71)Applicant: MITSUBISHI HEAVY IND LTD

CHURYO ENG KK

(22)Date of filing:

22.04.1985

(72)Inventor: TAMURA YUKIO

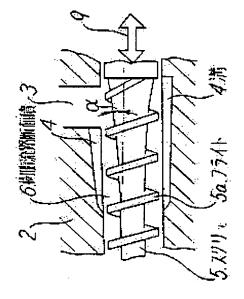
MURAI ATSUSHI

(54) PLASTICIZING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To control feeding capacity easily according to the kind and form of raw materials, by making a screw of a raw material feeding part whose cross-sectional area of a resin flow path varies along an axial direction settable at a desirable longitudinal position, in a plasticizing device such as a plastic extruding machine or rubber extruding machine or injection molding machine.

CONSTITUTION: 2 is a cylinder, 3 is a raw material and 4 is a groove processed on the inside of a cylinder and tapers off toward the tip of the screw 5. As for the screw 5, a depth of the same tapers off toward the direction of the tip of the same and a cross-sectional area of a resin flow path is increasing gradually toward the tip. This screw 5 is so constituted that it is capable of moving longitudinally along its axial line as shown by an arrow and fixing to a machine rest at a desirable position. Therefore, it may be good if the screw 5 is set to the optimum position of the machine rest by moving the position of the screw 5 longitudinally along the axial line according to a kind and form of the raw materials.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

Sec. 5. 1 1 1 ...



19日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭61-244507

@Int_Cl_1

識別記号

庁内整理番号

匈公開 昭和61年(1986)10月30日

B 29 C 31/04

45/60 47/44 47/60 7425-4F 7729-4F 6653-4F

6653-4F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

❷発明の名称

可塑化装置

村

20特 願 昭60-86025

23出 願 昭60(1985) 4月22日

⑫発 明 者 幸 夫 名古屋市中村区岩塚町字高道1番地 三菱重工業株式会社

名古屋研究所内

⑫発 明 老 村 井 淳

名古屋市中村区岩塚町字九反所60番地の1 中変エンジニ

アリング株式会社内

願 の出 人 三菱重工業株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目5番1号

の出 願 中菱エンジニアリング 人

 \mathbf{H}

名古屋市中村区岩塚町字九反所60番地の1

株式会社

砂復 代理人

弁理士 唐木 費 男 外1名

明 納

- 1. 発明の名称 可塑化装置
- 2. 特許請求の範囲

プラスチック押出機、ゴム押出機、射出成形 機等の可塑化装置において、原料供給部分のス クリュの樹脂流路断面積が軸線方向に沿って変 化するスクリュを有し、このスクリュを前後所 望の位置にセット可能として可塑化部への樹脂 供給量を制御することを特徴とする可塑化装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、プラスチック押出機、ゴム押出機、 射出成機等の可塑化装置に関し、特に原料の稼 類 形態等によってその原料供給能力を簡単に 繝整できる可塑化装置に関するものである。

(従来技術)

第5 図に従来構造の原料供給部を示す。図示 のものは原料供給部シリンダ2の内面に、スク リューの長手方向に沿って清深さが漸減する海

4を育するものについて示したものであり、第 6 図は第1 図のA - A 断面図であって、3 は原 料供給口である。なお、この例以外にも図示は しないが、シリンダ内面に溝を持たない、内面 が単に円形断面に形成されたシリンダが採用さ れていることも既に知られているところである。 これら可塑化装置での供給部の役割は、必要以 上の樹脂を送り込まず、また樹脂送り込み能力 が不足することのないようにすることで、この 部分に続く可塑化装置先端側の部分、すなわち、 可塑化部分へ適度な量の樹脂を送り込むもので

しかしながら前述したような従来の装置にあ っては、一旦スクリュを製作すると原料供給部 シリンダあるいはスクリュ形状の変更をするこ となしにこの部分での樹脂流路形状を変化させ ることができず、そのため原料の供給能力を変 更しようとするときは、シリンダ2の内面と樹 脂間あるいはスクリュ外面と樹脂間の摩擦力を 変化させざるを得なくなる。すなわち、この場 合シリンダやスクリュの温度を変更して行うことが通常であるが、その制御範囲は十分とはいい難いものであった。

特にシリンタ2の内面に満加工を施した前記、グループを持ついは、 スクリュール 関連では、 って送ってははいる。 スクリュール 原場 の温度でははは との が 内が 関 の の 場合 属 で といるの が 内が 関 の の い が 内が 関 の で の が 関 で に 示 す る が 策 を の の の が 明 で で の が 明 で で の が 明 で で の が 明 で で の が 明 で で の が 明 で で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が で の が 策 を の の が で の が で の が 策 を の の が が が が が が に に 示 す が な の な で で い は 樹 脂 は シ の 温 度 の が あ る 。 で の よ で い と が あ る 。

このように従来の可塑化装置での樹脂供給能力を変化させることが困難であるため、原料供給部樹脂通路がスクリュ及びシリングの構造に

鎖・形態・みかけ比重等が異なる原料を可塑化 しようとする場合供給能力を十分にコントロー ルできず、可塑化不良、可塑化量変動、押出物 の分散不良などの不具合が発生することが多かった。

よって一旦特定形状に固定されると、原料の種

たとえば、無機フィラ混合樹脂原料の造粒押出機の場合、可塑化部の圧力を高くすると無機フィラの凝集が生じ、押出物の分散不良となると、反対に圧力を下げて原料の供給を少な生するるととに対したのの形態・種類は対象ので、この様な場合を変更しながらことは財産ながのの形態を保つことは財産ないがの温度な供給権力を保つことは財産ないがある。従って適し、計量された定費の原料を可塑化装置へ連続的に供給する機にすることが多い。

そして、上記したシリンダ内面にたて満加工

3

をした供給部を持つ可塑化装置は、内面円形の シリンダに比して供給能力も大きいために広く 使用されつつあるが、供給能力が過剰となって、 シリンダ内圧が異常高圧となり、可塑化不良、 可塑化量変動を生じ、あるいはこの供給部分で 樹脂がつまったような現象が生じ、押出量は逆 に低下し、オーバロードが発生する場合がある。 (発明が解決しようとする問題点)

上述したとおり、従来のこの種可塑化装置にあってはシリンダとスクリュを一旦組み合料のを変更が困難であり、そのため原料の種類・形態等に合わせてその供給能力を変更しようとする場合には、シリング投給量を変更しなの出方を選択なかった。しかはできるを得なかった。しかはおかいていような手段によっても、適切な供給能力がでした。「単化不良、可塑化子の発生が余儀なくされていた。

本発明は、これらの点を解決して原料の種類 ・形態等に応じて簡単に供給能力を調整できる 可塑化装置を提供しようとするものである。 (問題点を解決するための手段)

このため、本発明はプラスチック押出機、ゴム押出機、射出成形機等の可塑化装置において、原料供給部分のスクリュの樹脂流路断面積が動線方向に沿って変化するスクリュを有し、このスクリュを前後所望の位置にセット可能とすることを構成として、これを上記問題点の解決手段とするものである。

(作用)

可塑化装置の原料供給部に軸線方向で樹脂液路断面積を変化させたスクリュを配設し、原料の種類・形態に応じて前記スクリュをその軸線方向に適宜位置まで移動させて固定する。こうすることによって、前記供給部での樹脂流路断面積を原料に応じた最適なものに選択調整することができ、常に適正な供給能力を発揮させることを可能とする。

(実施例)

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明

する.

第2図乃至第4図は、他の実施例を示し、第2図のものはスクリュ5のフライト5a間のピッチPをスクリュ5の先端方向に向けて漸増させており、この場合、樹脂流路断面積6は同じくスクリュ5の先端方向に漸増するものである。

7

種類・形態等に応じて供給部内の樹脂流路面積を扱適なものとしたいときは、スクリュ 5 を軸線に沿って前後にその位置を移動させて、最適位置に達したらそこでスクリュ 5 を機合等に固定セットすればよい。

(発明の効果)

以上、詳しく説明した如く本発明とではないでは、はいる原料供給のスクリュをその動物で、かつ所望位置でも、かできるようにして、加えて同いいなないでは動物であるようにしている。と異なり、原料の種類・形はいできない、最いの他の条件をその都度変更し、制御可見ののののである。、押出物の分数では、ないの発生を確実に防止できるようになった。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図はそれぞれ本発明の異なる

第3 図に示す例は、第1 図に例示したもの先端 反対にスクリュ5 のの先端であり、したがって、 この例の場合には樹脂ルでいる。更に、のの先端に向って衝放している。更に、取階のに、のの光端に向ってがある。更に、取階ののないがある。では、のののには、のでは、スクリュ5 の海流スクリュ5 の次にに向けてスクリュ5 の次端に向けているものである。大端に向けている。

これらの実施例のいずれも、第1図で示した 実施例同様スクリュ5は、スクリュ5の軸線方 向に移動でき、かつ所望の位置で機台等に固定 できるようにされている。

なお、図示していないが、これらの例以外に第2図及び第4図で示したスクリュ5の構造を前後逆に構成することも可能であることは勿論である。

このような構成とすることによって、原料の

8

実施例を示す可塑化装置における原料供給部の 側断面図、第5図は従来の原料供給部の側断面 図、第6図は第5図のA-A矢視断面図である。

図の主要部分の説明

2…シリンダ

4 ……溝

5 …..スクリュ

5a…フライト

6 …樹脂流路断面積

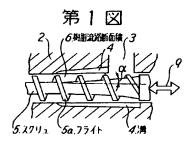
特 許 山 願 人 三菱重工業株式会社

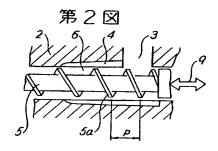
同 中菱エンジニアリング

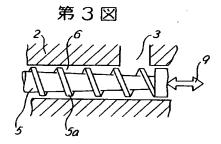
株式会社

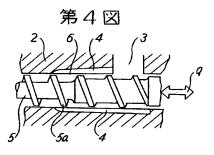
後代理人 弁理士 暦 木

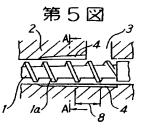


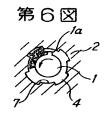












PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

61-244507

(43)Date of publication of application: 30.10.1986

(51)Int.Cl.

B29C 31/04 B29C 45/60 B29C 47/44 B29C 47/60

(21)Application number: 60-086025

(71)Applicant: MITSUBISHI HEAVY IND LTD

CHURYO ENG KK

(22)Date of filing:

22.04.1985

(72)Inventor:

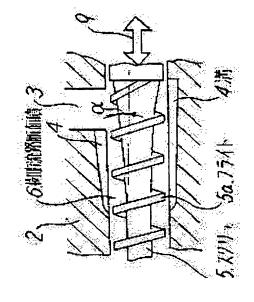
TAMURA YUKIO MURAI ATSUSHI

(54) PLASTICIZING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To control feeding capacity easily according to the kind and form of raw materials, by making a screw of a raw material feeding part whose crosssectional area of a resin flow path varies along an axial direction settable at a desirable longitudinal position, in a plasticizing device such as a plastic extruding machine or rubber extruding machine or injection molding machine.

CONSTITUTION: 2 is a cylinder, 3 is a raw material and 4 is a groove processed on the inside of a cylinder and tapers off toward the tip of the screw 5. As for the screw 5, a depth of the same tapers off toward the direction of the tip of the same and a cross-sectional area of a resin flow path is increasing gradually toward the tip. This screw 5 is so constituted that it is capable of moving longitudinally along its axial line as shown by an arrow and fixing to a machine rest at a desirable position. Therefore, it may be good if the screw 5 is set to the optimum position of the machine rest by moving the position of the screw 5 longitudinally along the axial line according to a kind and form of the raw materials.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY